

# 社会福祉法人仁多福祉会

- 1 経営理念  
「献身・貢献」 「規律・秩序」 「努力・向上」 「縁・感謝」
- 2 基本方針
  - 多様性に対応出来る人材の育成
    - ・課題に気付き、解決に向けて自ら行動を起こす人
    - ・課題解決能力の向上に努力する人
    - ・想定外の事象に柔軟に対処できる人
    - ・多様な価値観と共存できる人
  - 自己実現への相互支援
  - 地域貢献
    - ・日常的な相談への対応
    - ・非常事態下での地域への協力
    - ・地域の伝統継承など地域活動への協力
    - ・社会における課題の顕在化と解決策の提案
  - 感染症対策を行いながらの事業の実施
  - 「働きたい」と思われる職場づくり
- 3 令和4年度の重点課題
  - ① 生産性の向上
  - ② ハラスメントを防止と良好な人間関係の形成
  - ③ 緊急事態下での施設開放など地域への協力（性別、障害等に配慮した対応）
  - ④ 老人保健施設の今後についての検討
  - ⑤ 保育所の今後についての検討
  - ⑥ 広報活動の充実
  - ⑦ 人材不足への対応（外国人材の活用等）
  - ⑧ 感染症拡大防止策の徹底と防災意識の向上及び業務継続計画の整備

## 仁多福祉会立三成保育所

### < 経営理念 >

- 社会福祉法人仁多福祉会の保育所は、0歳から就学前の乳幼児の最善の利益を求めるとの保育（養護と教育）を行う。
- 職員は、保護者、地域社会と力を合わせ、一人ひとりの子どもの育ちをみつめ支える人として、豊かな人間性と専門性の向上に努め、高い倫理観を持つ。

### < 保育理念 > 信頼 ♡ 安心 ♡ いのち

- 子どもや保護者、地域社会から愛される保育所をめざす。
- 一人ひとりの子ども達に、今ある命を大切に考えながら、よりよい未来を作り出す力の基礎を育てる。

### < 保育目標 > たくましく心豊かな子ども

- 子ども達が、いのちを大切に思いながら、今を最もよく生きることができるよう —
  - いきいきとあそぶ元気な子ども
  - みんなへの思いやりをもつ子ども
  - 自然の中であそび、地域の文化や本物にふれ、豊かな感性をもつ子ども

### < 基本方針 >

- 家庭保育をサポートする「養護機能」と健康等の5つの領域に関わる心情、意欲、態度などを育成する「教育機能」から構成する。
- 養護と教育の関係は安定した養護（生命の保持及び情緒の安定）のもとでないと教育は成り立たない。
- 保育の重点目標

#### 五感を使った豊かな実の体験の積み重ね（実体験）

- ・自然に親しみ、感動体験を通して、命の尊さ、素晴らしさを感じる
- ・あそびの体験から興味関心を深める
- ・旬の食体験や地域行事への参加を通して文化や生活の豊かさを感じる

#### みんなの中での自分に気づく（集団的な活動）

- ・小さなふれあいを積み重ねて人を信頼できる
- ・自分を認めてもらい、自信を持って生きる
- ・友だちの気持ちを理解、共感できる

#### 運動遊びをとおした心身の成長（健康な心と体）

- ・年齢に合った、手先から全身を十分に動かしながらコントロールできる力をつける
- ・成功体験から自信ややる気、やりぬく力をつける
- ・生活で必要な活動がわかり、自分でできる

## 【令和4年度園運営を振り返る】

経営の理念、保育理念、保育目標を基に基本方針を持ち保育に取り組む。

令和4年度三成保育所は100名定員、4月は98名でスタートし3月には106名となり24名を小学校へ送る。就学先は三成小学校（21名）三沢小学校（3名）。

### ○合同保育で得たもの

三沢幼児園保護者会を中心に「子どものために何が一番良いか」話し合いを重ね、地域、行政も加わり意見交換会を行い令和4年度から三成幼児園と三沢幼児園は合同保育となった。同年齢の仲間の存在が重要であることは令和4年度の子どもの姿からも感じる事ができた。例えば、大人数だから楽しいドッジボールでは友だちと考えを出し合い力を合わせる難しさを知り「やったー」と喜び合える友だちの大切さを知ることができた。あたたかい集団が生まれ集団の関わりにより個が育つと考え、この関連性を留意しこれからも保育していきたい。

### ○魅力ある園を目指して

本園は園舎周辺や園外にも魅力ある遊び場がたくさんあり四季折々の自然の中で五感を使い豊かな体験を積み重ねてきた。地域とのつながりは今も続いており、田畑の活動は食育にもつながる活動であり三成保育所ならではの活動を大事にしていきたい。

### ○仁多子育て支援センターの取り組み

仁多子育て支援センターを利用される在宅の方も増え職員ともふれあい和やかな場となっている。ファミリーサポートセンター事業も一年が経ちこの事業を好まれる方も出てきた。また、前年度に引き続き産後ケアは産後のお母さんを対象にからだ作りの体験を行い好評だった。母子ともにより良い体験の場、出会いの場となる。

### ○多様なニーズを抱えた保護者、子どもへの支援

一時預かり事業は毎月の利用があり前年度よりも利用数は増加した。

医療的ケア児等対応できるよう関係機関との連絡、研修、家族への支援に努め、笑顔の多い暮らしが少しでもできるように支援体制を整え始めている。

### ○共に支え合う職員との関係づくり

コロナ禍の中、新型コロナウイルス感染症対策や対応、急な職員の休み等厳しい状況でありながら職員はそれぞれの「持ち場」で一生懸命に取り組み仲間と助け合う。

### ○安定した経営のために

経営において基となる決算書の数字を色々な観点からみていき統合も視野に入れてこれからどのようにしていくかビジョンをしっかりと持ち将来を見据えて行動したい。

# 令和4年度三成保育所事業報告書

## 保育事業

### 1. 入所保育事業（定員100名）

- ・養護と教育を必要とする乳幼児の保育
- ・家庭と連携をはかり、保護者が安心して就労ができ、共に育ちあう保育

クラス名	担任	年齢	児童数		職名	氏名
			R3.4.1	R4.3.31		
ひよこ	千原聡子 内田広子 堀尾信子 川角美鶴	0歳児	5名	16名	園長	石田幸枝
					主任保育士	石原睦子
					副主任保育士	宇佐美見幸
うさぎ	星野真利子 藤原弘美 井上由美 松崎巳加	1歳児	14名	14名	子育て支援センター	宇佐美見幸 山田智佳子 藤原利貴
					療育	糸川千絵
					一時預かり	川角美鶴
ぱんだ	川西沙也加 藤原優芽里 田中沙緒	1・2歳児	17名	17名	フリー	谷岡尚子
					栄養士	宮崎志麻
					調理員	福山美保子 陶山栄子
きりん	藤原麻衣子 陶山歩未	3歳児	19名	17名	事務	山田美和子
ぞう	西村優子 金倉知華	4歳児	19名	18名	第三者委員	立石典夫 吉川しのぶ
らいおん	伊藤美菜子 立石俊哉	5歳児	24名	24名	園医 歯科医	前山昌隆 太田歯科医院 高松歯科医院・奥出雲歯科
合計			98名	106名	年間保育日数	295日

### 月別入所児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	6	9	9	11	12	12	12	13	13	13	15	16	141
1歳児	21	21	21	21	22	22	22	22	21	21	20	20	254
2歳児	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	126
3歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	17	224
4歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	227
5歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
合計	99	102	102	104	106	106	107	108	107	106	107	106	1260
利用総数	2475	2346	2652	2600	2650	2544	2782	2592	2568	2438	2354	2756	30757

### 2. 特別延長保育事業(18:30~19:00)

- ・保護者の方の就労形態や家庭の事情によって対応した。
- ・長時間保育の負担にならないよう、ゆったりと心休まる雰囲気の中で保育を行った。

### 3. 療育事業

- ・運動面、精神面で支援を必要とする児童へサポートした。

### 4. 一時保育事業

- ・時々育児が困難、育児負担の解消、冠婚葬祭、傷病の緊急時に保育をした。

# 令和4年度主な事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
園内事業	入園・進級おめでとう会 (4日) 蔭涼寺花まつり (10日) 子どもの日の集い (13日) 尿検査・蛭虫検査 (17日) 奉仕作業(7時～) (21日) 保護者総会 (29日) 要旨山城祭 (29日)	三沢幼交流通要旨登山 (8日) 玉ねぎ収穫(わくわく畑) (9日) 親子遠足(2歳児以上) (11日:中止) 梅ジュースづくり (23日) プール開き (28日) 内科検診 (14・16日)	げんきアップ (1日) 七夕まつり (5日) 三成愛宕祭り太鼓演奏 (24日) げんきアップ (26日) 奉仕作業(7時～) (27日) みさわまち灯り(太鼓演奏) (27日)	親子運動会 (17日延期) 10/8開催	夏野菜収穫(横谷・わくわく畑) (開催なし) 稲刈り体験 (22日)	地区民運動会 (開催なし) 稲刈り体験 (22日)	
地域交流活動	椎茸狩り・植菌 (28日) 小・中学校入学式 (祝詞送付) (11日) 知環境整備 (延期:5/21) 子育て教育相談 (16日)	どろんこ遊び(5歳児16日/4歳児18日) (19日) 田植え体験 (19日) さつまも植え(横谷・わくわく畑) (28日)	夏野菜収穫(横谷・わくわく畑) (13日) 仁多福祉会幼児園4・5歳児トロロの菜園交流会 (22日) おはなしなかに (28日)	夏野菜収穫(横谷・わくわく畑) (1日) 仁多福祉会幼児園5歳児運動遊び交流会 (中止) おはなしなかに (28日)	夏野菜収穫(横谷・わくわく畑) (1日) 仁多福祉会幼児園5歳児運動遊び交流会 (中止) おはなしなかに (28日)	地区民運動会 (開催なし) 稲刈り体験 (22日)	
寮庭と共に	小・中学校入学式 (祝詞送付) (11日) 知環境整備 (延期:5/21) 子育て教育相談 (16日)	個人面談 (全児:16～28日) (3日) 三沢小幼小連絡会 (14日) 三沢小幼小連絡会 (24日) げんきアップぞう組 (3日) 子育て教育相談 (18日)	三成小幼小連絡会 (14日) 三沢小幼小連絡会 (24日) げんきアップぞう組 (3日) 子育て教育相談 (18日)	救急法講座 (20・22日)	三成小教員:フリー参観 あそんdayぱんだ組 (21日) 子育て教育相談 (10日)	校長会視察 (1日:中止)	
園内事業	内科検診 (4・6日) 就学前健康診断 (18日) げんきまつり (20日) 要旨山登山(4歳児) (26日) げんきアップ (28日) 作品展示 (25～29日)	収穫祭 (16日) どんどん興出雲 (開催なし) クリスマス会 (23日) 生活発表会(ばんだ以上) (28日) 保護者会総会 (資料配布のみ)	汽車の旅(5歳児) (9日) 餅つき (15日) クリスマス会 (23日) 生活発表会(ばんだ以上) (28日) 保護者会総会 (資料配布のみ)	奮初め (5～6日) 新年お楽しみ会 (6日) とんださん (11日) 生活発表会(ばんだ以上) (28日) 保護者会総会 (資料配布のみ)	節分 (3日) 生活発表会(ぞう組) (4日) ミニ発表会(ひよこ・うさぎ) (7日) 歯科健診 (2/9・3/3) お別れ会食 (17日) お別れ会 (20日) 卒園式 (24日)	ひなまつり (3日) 新入児説明会(内科検診) (7日) 交通安全教室 (9日) お別れ会食 (17日) お別れ会 (20日) 卒園式 (24日)	ひなまつり (3日) 新入児説明会(内科検診) (7日) 交通安全教室 (9日) お別れ会食 (17日) お別れ会 (20日) 卒園式 (24日)
地域交流活動	三成地区文化祭 (2日) 福振協花苗植え (13日) 仁多中学校職場体験 (4～6日) 就学先小学校にてスクリーニング検査 (24日)	釜焚きご飯体験 (8日) 三沢産業文化祭 (13日)	中央公民館書初め展示 (10日～)	中央公民館書初め展示 (10日～)	中央公民館書初め展示 (10日～)	中央公民館書初め展示 (10日～)	中央公民館書初め展示 (10日～)
寮庭と共に	あそんdayらいおん組 (14日) あそんdayうさぎ組 (24日) クラス懇談会(ひよこ・うさぎ31日)	あそんdayきりん組 (9日) 子育て教育相談 (19日) クラス懇談会(ぞう1日、きりん、ぱんだ2日、らいおん4日)	個人面談 (全児:1～14日) あそんdayひよこ組 (9日) 子育て教育相談 (10日)	給食体験 (実施なし) (三成小/三沢小)	ぞう組クラス懇談会 (役員選出) (25日) らいおん組クラス懇談会 (25日) 子育て教育相談 (18日)	幼小連絡会(三沢小) (8日) 1日入学(三成小/三沢小) (8日) ぞう組クラス懇談会 (役員選出) (25日) らいおん組クラス懇談会 (25日) 子育て教育相談 (18日)	幼小連絡会(三沢小) (8日) 1日入学(三成小/三沢小) (8日) ぞう組クラス懇談会 (役員選出) (25日) らいおん組クラス懇談会 (25日) 子育て教育相談 (18日)

● トロロの菜園 ● 講師 音楽療法士 武田千代美氏  
 ● 施設開放日 毎週土曜日(施設内・園庭で親子で一緒に遊びました)  
 ● 子育て教育相談day <相談員> 島根大学本館理察・副学長 肥後功一氏

● 月例行事 ● 身長体重測定 ● 避難訓練 ● 誕生会  
 ● お茶会・座禅・ダンス教室・・・感染拡大防止のため、活動中止  
 ● いよいよにあそんday・・・保育の中で、お子さんと一緒に季節の遊びを楽しみました。(給食体験:なし)

令和4年度 職員研修

全国保育協議会・日本保育協会・島根県保育協議会・島根県社会福祉協議会・その他			
月	日	研修内容	参加職員
7月	25・26・27日	保育士キャリアアップ研修(幼児教育)	伊藤美菜子
8月	22日	保育士・保育教諭スキルアップ研修会	川角美鶴恵 金倉知華
	25日	就学前人権教育講座	立石 俊哉
	29・30・31日	保育士キャリアアップ研修(新任保育実践)	陶山 歩未
9月	7日	主任保育士・主幹保育教諭研修会	石原 睦子
10月	3~17日	食育推進研修会(オンライン)	福山美保子 千原聡子 堀尾 信子 糸川千絵
11月	29・30日・12月1日	保育士キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	内田 広子
2月	オンデマンド	保育士キャリアアップ研修(子育て応援・保護者支援)	宇佐美見幸
		保育士キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	立石 俊哉
奥出雲町教育委員会・療育・特別支援・専門研修			
8月	17日	特別支援連携協議会:コーディネーター連絡会	石原 睦子
11月	25日	縄跳び講習会	伊藤美菜子
2月	6日	要保護児童対策地域協議会研修会	石田幸枝 藤原麻衣子 石原睦子
	28日	後期学校訪問・三成小	石原 睦子
放課後支援員資格取得講習会 (石原・宇佐美・川角・田中)			
雲南保育協議会			
総会・講演会	中止		
施設長部会	5回予定のうち1回中止 (所長)		
保育士部会	3回実施 8月16日保育士部会研修(石原)		
調理担当者部会	4回予定のうち1回中止(宮崎)		
語る会	}	保育 12月2日 奥出雲ブロック 子どもの人権 講師:福田充雄氏(川西・藤原弘・谷岡)	
		保健 10月4日 資料閲覧	
		療育 11月11日 子どもの発達を促す遊び(星野・伊藤)	
実技研修	6月22日運動遊び・幼児向けなわを使った遊び(陶山歩・西村) 自然観察(中止) 絵画研修(田中)		
公開保育	10月8日阿井保育所(伊藤) 10月19日来島保育所(資料閲覧) 11月1日木次こども園(藤原優)		
職員研修(仁多福祉会幼児園・園内研修他)			
* 小児科医師講演会	講師:前山昌隆先生 中止		
* 子育て講演会	実施なし		
* 福祉会幼児園職員	肥後講座 6回 講師:肥後功一先生(布勢幼児園・亀嵩幼児園(西村)・馬木幼児園・横田幼児園・八川幼児園・三成幼児園(中止))		
* 普通救命講習会	講師:奥出雲消防署 2回に分け、全職員参加		
* 教育センター訪問指導研修	講師:教育センターアドバイザー ・4歳児公開保育 ●人権・虐待研修		
●園内保育公開(全クラス) 反省会・意見交換	園内のコロナ流行により、研修がキャンセルとなる。自己評価シートを使用し、振り返りを行う。		
●定例職員会において園内研究会議・研修報告	所長研修の研修報告より、学ぶ。		
●チーフ会・以上児会・未満児会・研究会・もぐもぐ会議他			

今年度受けた苦情・ご意見(アンケート報告)

苦情受付：主任 石原睦子  
 苦情解決責任者：園長 石田幸枝

＜内 容＞

<p>・朝の電話や園の携帯にかけてもつながらないことが多い。電話対応、大変ではあるが、お願いしたい。</p>	<p>・大変ご迷惑をおかけしております。職員、連携を取りながら、気を付けていきたいと思ひます。携帯につきましては、緊急時・行事の時のみの使用となっておりますので、ご了承ください。</p>
<p>・送迎時、坂でロータリーがあくのを待っていると、後ろから追い越していき、ヒヤツとした。業者の車も、怖いときがある。</p>	<p>・新年度説明会や総会時に説明はしているが、徹底されていないと感じています。送迎されるご家族、皆様にお伝えいただくよう、繰り返し啓発していきたいと思ひます。</p>
<p>・園で、排便後の始末について教えてほしかった(拭いている様子を見てほしかった。)</p>	<p>・年齢や発達に合わせ、様々な対応をしていますが、個別支援が足りなかったと反省しています。保護者の方との連携を密にし、成長を支えていきたいと思ひます。</p>
<p>・お迎えに行ったとき、一人で手ぶらで出てきて帰ろうとした時があり、危ないと思つた。その後も、担任が出てこられず、無断で帰っていいのかわからず、困つた。</p>	<p>・絶対にあつてはならないことで、ご心配をおかけいたしました。再発防止に努めていきたいと思ひます。今後、万一、こういう事態の時は、職員に必ず、報告下さい。</p>
<p>○連絡ノートについて              ・連絡ノートを頻繁に書いてほしい。日々様子がわからない。              ・年齢が進むにつれ、ノートに書いて下さることが減り、会話が出来るようになったから本人から様子を聞いてというのわかるが、先生から見た様子も知りたいと感じている。              ・その日の保育の内容と、写真付きの手紙がはさんである日があり、子どもの様子がわかりやすい。              ・お忙しいとは思ふが、先生によっては、忙しいときでも何か一言必ず書いて下さる。先生によってあまりに差があるのはどうかと思つてしまう。              ・先生の@すらない日があり、コミュニケーションに不安があります。コメントを頂くことで、会話が出来るよう、安心感があつたのですが…。</p>	<p>・毎年、連絡帳の記入に関しては、たくさんのご意見を頂き、保護者の方が、連絡帳でのやり取りやお便りを楽しみにしていらつしゃつたり、家庭と幼稚園のコミュニケーションツールの一つとして大切に下さっていることをありがたく思ひます。              時には、連絡帳の記入時間を保育環境の整備や、行事の準備、午後活動にあてさせていただいておりますが、その分、本日のお子様の様子について、降園時に直接お話ししたり、連絡帳をかけない経緯について保護者の皆様にご理解いただけるよう努めるようにしてまいりました。保護者の方の中には、不安をお持ちになつた方がいらつしゃつたことを真摯に受け止め、次年度に向け、見直しを図つていきたいと思ひます。</p>
<p>○園の行事について              ・感染防止の観点から園行事が縮小されていたが、そのあたりはこだわりすぎず、充実した経験が出来るよう、もう少し行事を戻してほしい。              ・コロナ禍で理解が出来ないわけではないが園行事への兄弟参加を禁止されるとどちらかがいけないか、預ける場所を探すのも大変なので、参加を認めてほしい。              ・その他、あそんdayの給食参観をさせてほしい、運動会の親子競技はあつたほうがよかつた、小学生はしゃべらない旨は理解できるので連れていきたい、太鼓演奏の際前に立つ職員さんがしゃがんでくれると写真が撮りやすい等。</p>	<p>・今年度も園の行事は、新しい生活様式を取り入れながら、感染拡大防止のマニュアルに沿ひ、各年齢で経験させたい内容を大切にしながら行いました。ご家族方皆様に参加頂きたい思ひはありましたが、まずは、子どもたちのためにその行事を開催すること、せめて、保護者の皆様だけは、制限なくお越しいただけるよう努力いたしました。ご家庭によっては、お困りになられたと思ひますが、小学生は、児童クラブをご利用いただけるよう、開けてまいりました。様々なご意見があらうかと思ひますが、来年度も、一気に緩和することではなく、園児の安全と成長を最優先し、行つていくことになると思ひます。ご理解、ご協力頂きますよう、お願い致します。</p>

お子様を保育する中で、保護者の方や地域の皆さんからいろいろなご不満やご要望をお寄せいただきました。その都度、三成幼稚園苦情処理委員会にて解決の努力をいたしました。一つひとつのご意見やご要望を保育の質を高めるためのご助言として受けとめ、職員一同、より高い質の保育の向上のため、チーフ会、職員会等を利用し、施設内での報告・相談の徹底に努めました。

＜解決方法＞

- 連絡帳で回答し、理解してもらつた。
- 園長・主任・担任が協議、解決した。
- 苦情解決責任者(園長)が個別に解決した。
- 職員会で協議し、保育の見直しを図つた。

\*今年度いただいた内容については、園内で解決できましたが、第三者委員へ全て報告を行いました。

仁多福祉社会幼稚園第三者委員 立石 典夫 吉川しのぶ

＜苦情を受けての反省・今後の取り組みとして＞

- 子どもの心によりそえる保育の専門性の向上に努めていく。
- 行事の見直し、検討をしていく。
- 日頃から家庭へ保育の様子が伝えられるよう努めていく。
- 職員の他方面にわたる資質向上の研修を重ねていく。

# 令和4年度 仁多子育て支援センター事業報告書

## (1) 相談事業

○子育てや保育、教育に関する相談を受けた

○相談員 島根大学本部 理事・副学長 肥後 功一

○三成幼稚園 園長 石田 幸枝

・教育相談日 4月16日・6月18日・9月10日・11月19日(中止)・12月10日・2月18日 12件  
 ・おたより帳、電話、面接等相談 8件

## (2) 土曜日施設開放保育

○幼稚園の保育室、園庭を開放し、地域の親子に利用してもらった。

その間、保育士が子育て中の父母、祖父母の話を聞いたり、相談を受けたり、保育のアドバイスを行った。

### 土曜施設開放・参加保育各月 あそびのテーマ

月	あそびの内容	土曜開放	参加保育	月	あそびの内容	土曜開放	参加保育
4月	「春がいっぱい」 「元気にお外であそぼう！」	0組	0組	10月	「からだを動かしてあそぼう」 「元気にお外であそぼう」	0組	0組
5月	「こいのぼりを作ろう」 「春のおさんぽたのしいね」	1組	0組	11月	「秋のおさんぽ楽しいね」 木の葉木の葉であそぼう」	2組	0組
6月	「小麦粉粘土で遊ぼう」 「砂や水に触れて遊ぼう」	1組	0組	12月	「クリスマス飾りをつくろう」 「ごっこあそびをしよう」	0組	0組
7月	「砂や水に触れて楽しく遊ぼう」 「たなぼたかざりを作ろう」	1組	0組	1月	「お正月遊びをしよう」 「雪遊びをしよう」	0組	0組
8月	「水といっぱいあそぼう」 「プールであそぼう」	1組	0組	2月	「鬼ごっこをしよう」 「木のおもちゃであそぼう」	0組	0組
9月	「色水あそびを楽しもう」 「みんなで運動会ごっこをしよう」	1組	0組	3月	「おひなさまをつくろう」 「春をみつけよう」	1組	0組

## (3) 参加保育

○乳児室、各保育室、遊戯室など年齢に応じた部屋で、地域の親子が同年代の子ども達と一緒に過ごされた。

## (4) 子育て保育室“どんぐり”

○年間通して音楽療法「トトコの楽校」、助産師による「母乳相談会」、管理栄養士による「離乳食教室」、3B体操、産後ケアの指導を取り入れ在宅の親子に楽しんでもらった。

## (5) 出前保育“どんぐりっこすくすく”

○手作りおもちゃなどを持って出かけ、スタッフが中心になってあそびの場を提供する。

○手あそびやふれあいあそびを一緒にしたり、子育ての相談を受けた。

	場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出前保育	布勢	3組	2組	2組	2組	0組	0組	1組	1組	0組	2組	3組	3組
	センター	3組	2組	9組			2組	0組	2組	0組	1組	6組	3組
	阿井	1組	0組	2組	3組	2組	4組	4組	0組	1組	2組	2組	2組
	亀嵩	3組	1組	5組	3組	0組	1組	2組	1組	0組	中止	3組	3組
	合計	10組	5組	18組	8組	2組	7組	7組	4組	1組	5組	14組	11組
子育て保育室“どんぐり”	トトコ		6組		3組		2組		2組		5組		5組
	産後ケア	5組		6組		4組		5組		4組			6組
	離乳食				3組				6組				
	いっしょにあそび		中止		中止	1組	中止	4組	中止		中止	中止	
	合計	5組	6組	6組	6組	5組	2組	9組	8組	4組	5組	0組	11組

○出前保育

年間 45回

延人数 92組

○すくすくこどもの日 3組

○子育て保育室“どんぐり”

年間 16回

延人数 67組

(6)“どんぐりる～む”の充実

- 子育て中の親子や仲間同士が気楽に来て、一緒に遊んだり子育ての悩みや情報交換など話せる場を提供した。
- 家庭にはない大型の遊具や手作りの布おもちゃなど、子どもの年齢や発達に沿ったおもちゃを常時配置し、自由に使い遊べる場作りをした。
- 親や仲間同士、ほっとくつろげる場として充実させ、子育てのひとつときを楽しんでもらった。

○“どんぐりルーム” 年間利用人数 62組

(7)まつり・つどい

日時	内容	人数
5月11日	すくすくこどもの日	4組
7月15日	すくすく七夕会	中止
7月22日	救急法講座	4名
10月12日	おくいずもすくすくうんどうかい	11組
10月20日	くわえパペットステージ(2部公演)	100名
11月25日	子育て講演会	12組
12月 7日	すくすくクリスマス会	16組
合計		147組

(8)支援事業

- 乳児健診・1歳6ヶ月健診・3歳児健診へスタッフを派遣し、健診のサポートを行った。4、5ヶ月、7、8ヶ月児健診時には“ふれあいタイム”を設け、個別に親子での触れ合い遊びを指導した。
- ミニ療育支援 ・親子で遊べる場の提供や、あそび方を指導した。  
・子育て、障がい、教育等の不安や悩みが話せる場作りをした。
- チャイルドシートの貸し出し
- 絵本の貸し出し

(9)子育て情報誌

- 「奥出雲子育て通信」を12回発行した。
- 「たけのこ」を発行した。(3月)
- 「すくすくどんぐりだより」を発行した。

(10)おくいずもファミリーサポートセンター

○子育ての手助けをしてほしい人とお手伝いしたい人が会員となり、育児の相互援助活動を地域で行う会員組織。

会員数	30名
おねがい(依頼)会員	18名
まかせて(援助)会員	9名
どっちも(両方)会員	3名

幼稚園・小学校の送迎・預かり	6件
放課後児童クラブの送迎	0件
子どもの習い事の送迎	0件
その他	0件
合計	6件



一時保育事業

○時々育児が困難・育児負担の解消、冠婚葬祭、傷病の緊急時、同年代の子どもとの触れ合い等のため保育を受けた。

一時保育年間利用状況 (1日 1500円)

(延人数)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0才児延人数	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4
1才児延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2才児延人数	20	1	12	19	26	23	18	0	6	14	2	0	141
3才児延人数	0	0	0	6	0	0	0	0	0	9	11	3	29
4才児延人数	0	0	11	19	17	6	14	0	0	0	0	0	67
5才児延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延人数	20 20	1 21	23 44	44 88	43 131	31 162	32 194	0 194	6 200	23 223	13 236	5 241	240
利用日数	16	1	12	19	19	19	18	0	6	14	12	5	141
一日平均	1.2	1.0	1.9	2.3	2.2	1.6	1.7	0	1	1.6	1	1.0	1.7

# 令和4年度 みざわ児童クラブ事業報告

## 《 理念 》

「みざわ児童クラブ」は授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供して、児童の健全な育成を図ることを目的とします。家庭的なくつろいだ雰囲気作りに努め、心地よい自分の居場所を見つけて、お互いが助け合い、学び合い、考えを出し合いながら活動します。また、地域の人や乳幼児とのふれあいを通して心を育て、元気と笑顔のあるクラブを目指します。

## 《 活動内容 》

- 指導員と一緒に時間を決めて、宿題や復習、自主学習を行った。
- 自由活動の時間には、自分たちで遊びを見つけたり、考えたりしながら楽しく過ごした。
- 休校日や長期休暇には、新型コロナ対策をしながら出来る範囲での体験活動を行った。

- ・三沢の散策、探索活動。
- ・壁面装飾などの製作活動。
- ・みざわ川で遊ぶ。
- ・奥出雲町の軽スポーツ交流会は新型コロナ感染予防のため中止。
- ・バス等を利用しての郊外活動も新型コロナ感染予防のため自粛。

### 「みざわ児童クラブ」の1日

下校～16:00

「ただいま」の元気な声で帰ります。

指導員による利用確認、健康視診。検温、手洗い、手指消毒。  
おやつ。

16:00～

学習。

16:30～17:00

自由遊び。

17:00～18:00

清掃や片づけをして帰宅準備。順次帰宅。

18:00～18:30

希望により延長利用。

## 《 利用実績 》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	年間利用	6	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	68
	一時利用	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	143
	合計	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	17	211
利用数	年間利用	86	77	94	72	62	94	112	88	92	86	90	71	1,024
	一時利用	43	48	64	76	72	51	64	48	47	38	35	59	645
	合計	129	125	158	148	134	145	176	136	139	124	125	130	1,669
月平均利用数		6.7	9.6	7.2	7.4	6.7	8.5	8.8	6.8	6.9	6.9	6.6	5.9	7.1
活動日数		19	19	22	20	20	17	20	20	20	17	19	22	235
開所日数		19	19	22	20	20	17	20	20	20	18	19	22	236